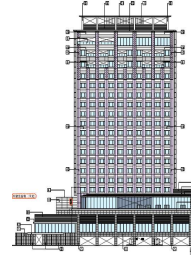


# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)シーサイドももち開発計画	階数	地上20F
建設地	福岡県福岡市早良区百道浜二丁目902番23	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	600人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	飲食店、ホテル、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年11月 予定	評価の実施日	2023年10月4日
敷地面積	2,811㎡	作成者	笠島 里弥
建築面積	1,575㎡	確認日	2023年10月4日
延床面積	17,579㎡	確認者	本多 昭



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.7**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・福岡市に建設されるホテルの計画である。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・開口部の遮音性を高め、室内の音環境に配慮している。	・天井高を高く設定し、心理性・快適性に配慮している。	・敷地の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っており、良好な景観形成へ配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・断熱性能を高め、建物の熱負荷を抑制している。 ・高効率な設備機器を選定している。	・O Aフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、躯体と仕上材の分離を容易にすることで、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。	・適切な量の駐輪場・駐車場を確保し利便性に配慮、荷捌き車両の駐車施設を確保し、出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される